

The Fifth UK-Japan Engineering Education League Workshop (第5回日英工学教育ワークショップ)開催報告

東京工業大学 岸本喜久雄, 岩附信行

1. 概要

期間：2017年9月7日(木)～9月9日(土)

会場：University of Glasgow, Glasgow City, UK

参加者：日英の教員, 学生(60名以上, 内博士学生 25名)

日本側参加大学：北海道大学, 東北大学, 東京工業大学, 名古屋大学, 九州大学

英国側参加大学：Imperial College London, Cambridge University, Queen's University of Belfast,

University of Oxford, University of Birmingham, University of Glasgow

その他：EU

2. 開会式

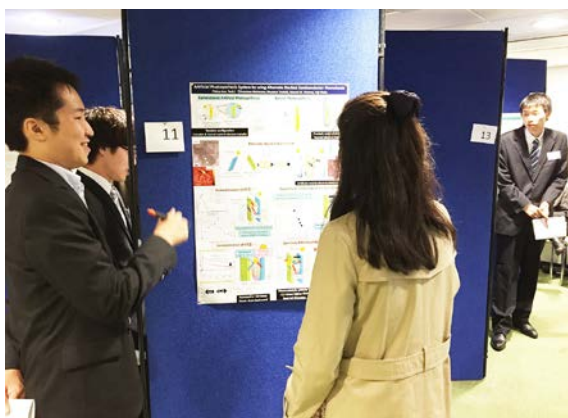
まず University of Glasgow の International Dean for East Asia の Professor Jane Duckett が歓迎の辞を述べ, University of Glasgow の紹介を行った。1451年創立で, Kelvin や Watt 等の著名な人材を輩出している。また「まっさん」こと竹鶴政孝が卒業したことでも有名とのことである。次に Imperial College London の Professor Roderick Smith から歓迎の挨拶があった。



UKJEEL 参加者 (University of Glasgow にて)

3. 学生の活動

初日(9月7日)に学生は自分の研究について3分間のショットガン発表とポスターで発表を行った。その後, 学生は5つのグループに分かれて「持続可能な再生可能エネルギー」をテーマに如何に二酸化炭素排出を抑えるかの解決策について話し合い, そのグループワークの成果はワークショップの8日に発表を行った。



ポスターセッションの様子



ポスター発表優秀者の表彰

4. 教員の活動

9月7日には、学生のショットガン発表を聞いた後ポスター発表に参加して質疑するとともに、採点を行った。次に若手教員のFDを兼ねてワークショップを行った。まず University of Glasgow at Singapore の Professor Trevor Hoey が同校での国際化の経験について、続いて東工大の西原明法教授が TAIST-Tokyo Tech について、そして東工大 Jeffrey Cross 教授が日本とインドネシアにおける機械工学に関する能力評価について講演し、質疑応答を行った。続いて多国籍教育と工学系学生の学際的プログラムでの教育の2テーマに別れてラウンドテーブルディスカッションを行い、8日にはその発表を行った。さらに、ビジネスミーティングでは今後の UKJEEL のあり方についてと次回の九州大学での開催計画について議論した。



UKJEEL についての討議



ラウンドテーブルディスカッション

5. ゲストの講演

8日の午前には、「共同研究の機会と資金源」というテーマで、数日前まで EU の Senior Expert, Europe-Asia Co-operation in Higher Education であった Brian Toll 氏と Energy Technology Partnership CEO の Mr. Mark Williams による講演があり、議論を行った。



ゲストの講演

6. エクスカーション

9月9日は Helensburgh, Loch Lomond Shores, Glengoyne Distillery にバスでの小旅行を行い、懇親を深めた。Glasgow に戻り、最後にレセプションで反省会をし、来年の再会を期して閉会となった。



ウイスキー蒸留所



反省会

7. 次回開催

期間：2018年9月上旬 会場：九州大学

なお、2019年の開催は Queen Mary University of London